

2016年8月8日
丸紅株式会社
株式会社東芝

タイ国バンコク都市鉄道パープルラインの開業について

丸紅株式会社（以下、丸紅）と株式会社東芝（以下、東芝）が出資する共同事業体を通じて、2013年に鉄道システム一式を受注したタイ国バンコク市の都市鉄道パープルラインが、2016年8月6日に開業しました。

パープルラインは、バンコク市北部から北西方面に23km伸びる路線で、タイ国運輸交通局により日本政府の円借款を活用して建設されました。パープルラインが開業したことで、経済成長に伴い人口増加が続くノンタブリー県とバンコク市中心部の移動がスムーズになり、交通渋滞の緩和につながると期待されています。

丸紅と東芝は、共同事業体を通じて鉄道システム一式（車両、信号・運行監視設備、変電設備、通信設備など）を供給し、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 東日本）と設立した共同事業体にて10年間のメンテナンスを請け負います。

今回、採用された車両はJR 東日本グループの株式会社総合車両製作所が製造しました。これまで車両の多くが欧州製だったバンコク市の都市交通に日本製車両が採用される初めてのケースとなります。また、鉄道運営会社を含めた日本企業連合が海外で鉄道メンテナンス事業に参画するのも初めてです。

丸紅と東芝は、JR 東日本グループと連携して日本の高品質の鉄道技術を提供することで、同国の交通事情の改善に貢献していきます。

以上



始発駅の様子



ホームに並ぶ乗客